

令和5年10月12日

関係各位

公益社団法人日本技術士会東北本部岩手県支部

施工研究会代表 平井 公康

構造物コンクリート研究会代表 菅原 常彦

道路研究会代表 熊谷 利明

令和5年度施工・構造物コンクリート・道路研究会合同現場研修会の開催について
秋冷の候 皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、施工研究会、構造物コンクリート研究会及び道路研究会では、下記のとおり合同現場研修会を開催することとしましたので、御案内します。

記

1 日時

令和5年11月22日(水) 13時～16時15分

2 場所

一般国道107号大石地区災害復旧事業
(岩手県和賀郡西和賀町大石地内)

3 集合場所

岩手県県南広域振興局土木部北上土木センター 別棟2階 第2会議室
(岩手県北上市芳町2-8)

※ 北上土木センターで事業計画等の説明を受けた後、貸切バスで現場に移動します。

4 対象

(公社)日本技術士会東北本部岩手県支部会員
いわて技術フォーラム会員

5 申込方法

参加を希望される方は、「別紙」により令和5年11月15日(水)までに下記担当までメールで申込みください。

なお、本現場研修会は、定員30名(先着)としますので、お早めに申込みください。

【担当】道路研究会代表 熊谷 利明

E-mail: toshiaki-kumagai@pref.iwate.jp

連絡先: 岩手県沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

道路整備課 道路環境チーム(0193-64-2221(内線363))

6 その他

長靴、ヘルメットの持参をお願いします。

【位置図】

地理院地図
GSI Maps



【行程】

- 13 時～13 時 45 分：事業計画等説明(北上土木センター(別棟 2 階 第 2 会議室))
 - 13 時 45 分～14 時 30 分：移動(北上土木センター⇒現場)
 - 14 時 30 分～15 時 10 分：現場研修
 - 15 時 10 分～16 時 10 分：移動(現場⇒北上土木センター)
(道の駅「錦秋湖」での休憩を含む)
 - 16 時 15 分：解散(北上土木センター)
- ※ 北上土木センター⇔現場は貸切バスで移動

地すべり現象について

地すべり現象とは、斜面の一部が地下水等に起因してすべる現象、またはこれに伴って移動する現象です。

今回の地すべりは、令和2年度冬の大雪が溶け、その後、4月中旬にまとまった雨が降り、さらに、5月1日に発生した地震の影響で変状が発生したものと推測されます。

地すべり現象により約120万㎡の土塊が錦秋湖方面へ移動



イメージ図



上部では約2mの段差が発生



道路では約30cmの段差が発生



道路の沈下と擁壁の変状が発生

応急工事(押え盛土、迂回路)

一 押え盛土

大規模地すべりへの応急工事として、令和3年度に岩手県が約14万㎡、令和4年度に国土交通省が約48万㎡の押え盛土を実施し、地すべりの動きは沈静化しました。

一 迂回路

通行確保のための応急工事として、錦秋湖(湯田ダム)を横断する仮橋等の迂回路を令和4年11月30日に供用させ、令和3年5月から1年7か月続いた全面通行止めを解除しました。

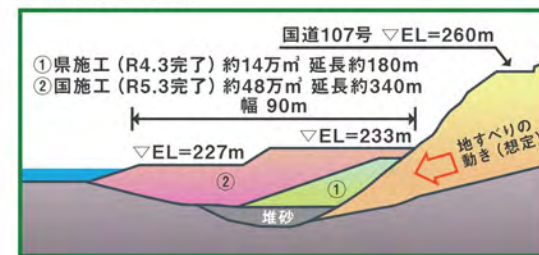
・仮橋は片側交互通行です。また、地震、吹雪、大雪などの異常気象発生時は通行止めとします。

規制情報やライブカメラ映像をこちらからリアルタイムで発信しています



仮橋の規制情報
ライブカメラ

押え盛土の施工状況



一般国道107号 大石地区道路災害復旧事業



